



箱庭WGの活動紹介



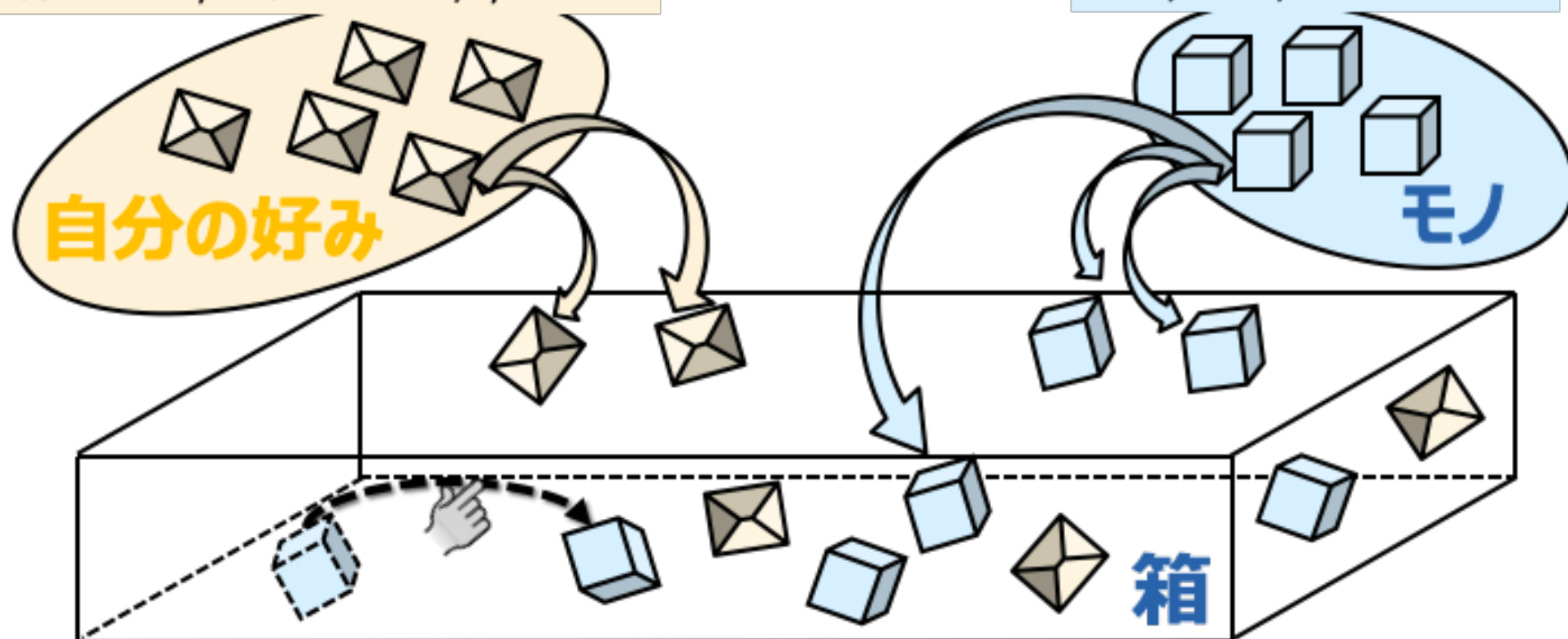
①『箱庭』とは？

IoT／自動運転時代のシステム全体を検証するためのシミュレーション環境

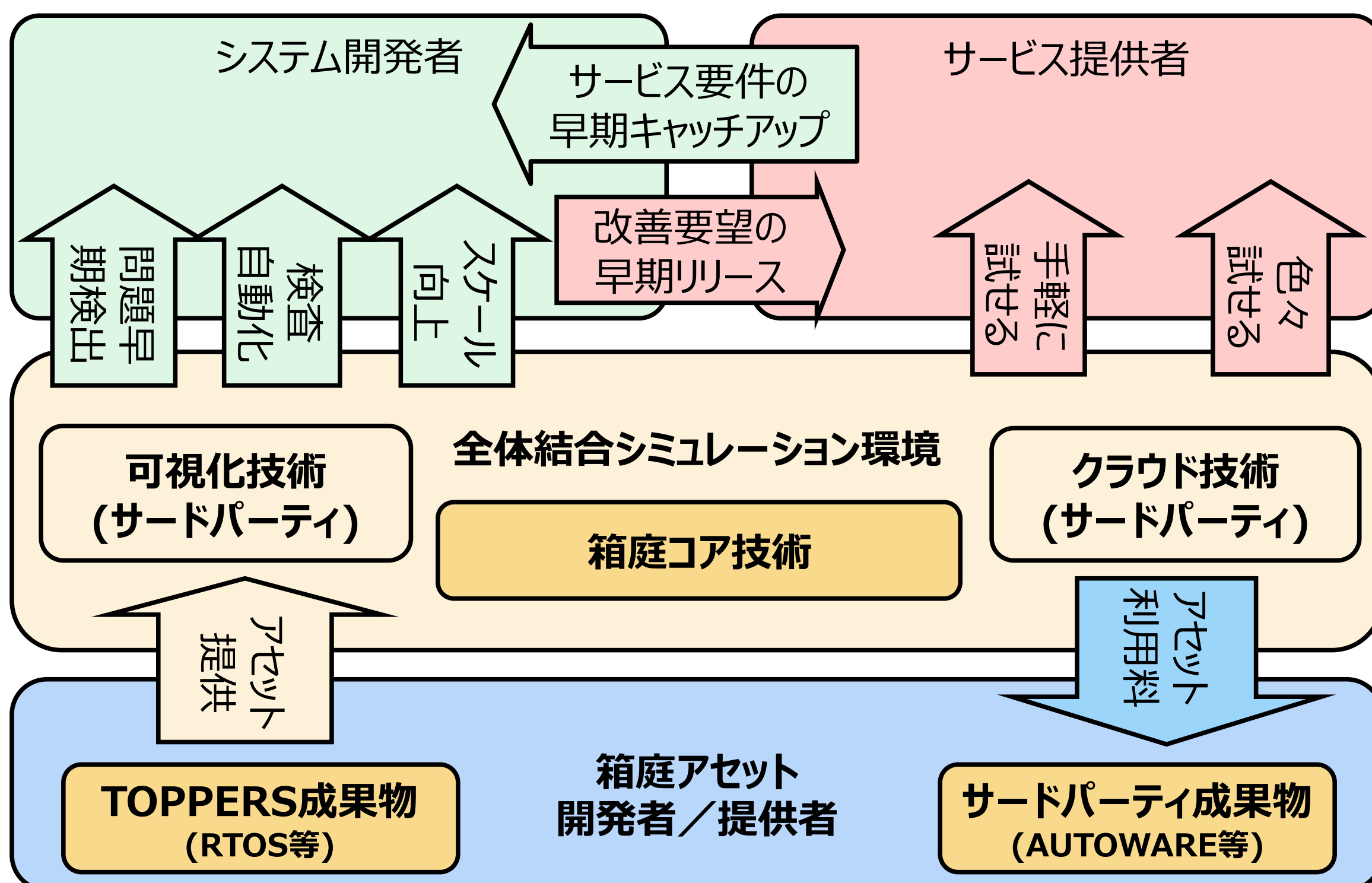
- ・箱の中に、
- ・ いろいろなモノを自分の好みに配置して
- ・ 色々試せる！

評価シナリオ, 自社サービスP/F, 地図等

車, 環境, イベント等々



③箱庭アーキテクチャとエコシステム



こんな困りごとを解決します！

デバイス／エッジ／クラウドの各機器がネットワーク接続された複雑なIoTシステム開発における...

1. システム構築の視点

- ・機器間の時空間的整合性の確保
- ・複雑化する問題発生経路の特定
- ・全体結合試験における原因調査・デバッグの複雑化

2. サービス構築の視点

- ・頻繁な要件変更への対応
- ・提供サービスの品質と価値の評価
- ・各機器のモジュール選定のコスト増
- ・実証実験のコスト増

②目指すところと提供する機能

・ターゲットとサービス分野

- ・自動運転(車載)や物流ロボット, IoT住宅などの様々な分野を想定

・箱庭の利用者

- ・システム開発者とサービス提供者
- ・箱庭アセット(=システム構成要素)の開発者と提供者

・箱庭の提供する機能

- ・全体結合シミュレーション環境
- ・シミュレーションコア技術 **Hakoniwa Engine**
- ・タイミング同期機構
- ・可視化ツール
- ・同調カーネル

三位一体

④強みと新しさ

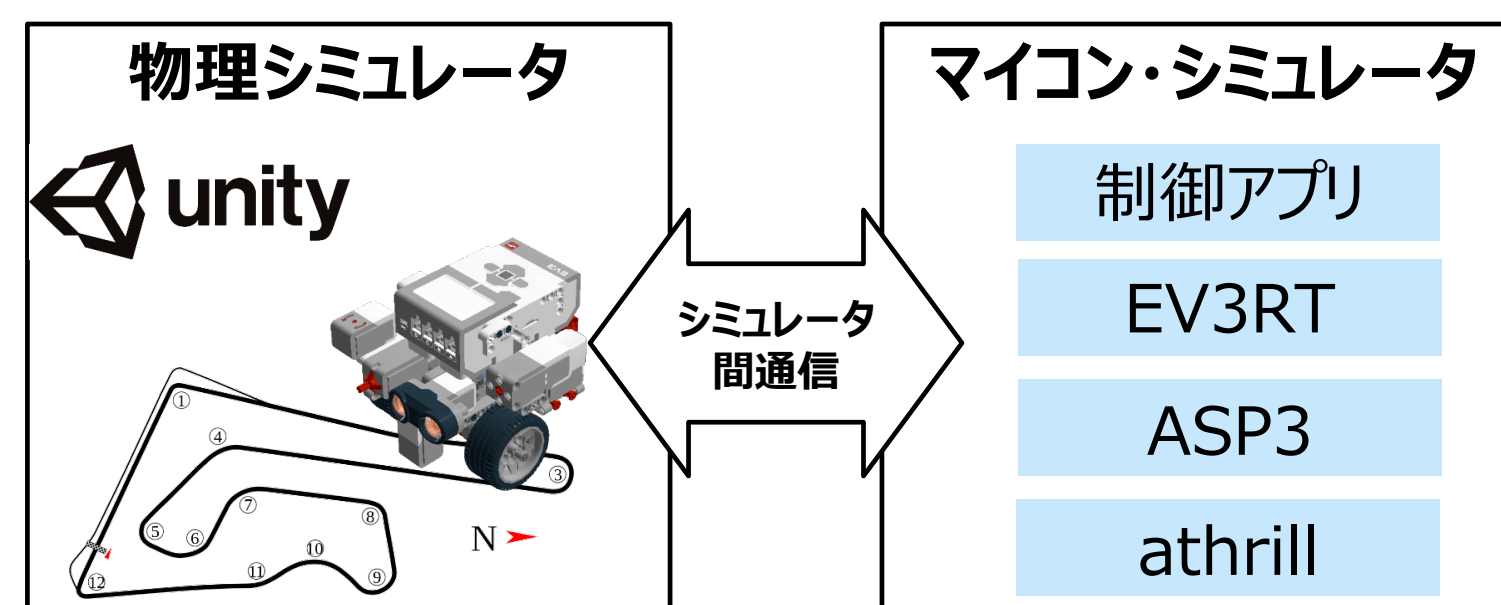
- ・IoTの各要素を任意の精度で検証可能
- ・検証の対象／抽象度／レベルを任意に変更できる

ロボット物流サービスのマルチレイヤ検証例

仮想化レベル(抽象度)	利用者	価値
L-3 工場内スペース ロボット群 クラウド連携	物流系サービス開発・提供者	物流サービス全体としての動作確認
L-2 走行環境 ロボット内マイコン群 ロボット間通信	ロボット開発者	ロボット単体としての動作確認
L-1 センサ マイコン 通信	ロボット向け組込み開発者	個々の機能の動作確認

⑤プロトタイプモデルの開発(進行中)

- ・箱庭のコンセプトを視覚的に実証するデモを開発中
- ・今年度下期の重点課題
- ・皆さまのフィードバックを得ながら、開発者／サービス提供者向けの拡張・機能強化を目指していく



仮想化レベル	プロトタイプモデル	目的
1,2	A: ETOロボコン向けシミュレータ	技術研鑽 広報活動
2	B: ROS・マルチECU向けシミュレータ	時間同期の 仕組み検討
3	C: 車車間協調動作向けシミュレータ	クラウド連携の 機能強化

仮想化レベルと目的に応じた3種類を開発中/予定



Toyohashi Open Platform for Embedded Real-time Systems

⑥箱庭WGへのお誘い!!

- ・でっかく語って、少しずつ育てています！
- ・『箱庭』の狙いや活動にご賛同いただける方の参画をお待ちしております！！
- ・まずはSlackでの議論に参加してみたい
- ・コア技術や各プロトタイプの開発に参加したい
- ・活動内容に自社からの要望を伝えたい
- ・技術成果を活用してみたい などなど...
- ・問合せ・連絡先：TOPPERS事務局 secretariat@toppers.jp

今後のイベント案内

- ・12/19(木)：TOPPERS技術検討会議
- ・2-3月頃：第2回 箱庭WG合宿
- ・詳細はWebやMLの案内をご参照ください